

(3) 野菜の生産

県内では、それぞれの地域の気候や地形を生かしながら、ナス、スイートコーン、トマトなどたくさんの種類の野菜がつくられています。

特に、初夏のスイートコーンや夏から秋にかけて生産されるナスは全国でも有名です。また、日本一の生産量をほこるクレソンは、きれいな水を利用し、道志村を中心につくられています。

主なものは、甲府市周辺や笛吹市で、夏の暑さと水分の多い土地を利用したナス、夏のすずしさを利用した北杜市のトマト、鳴沢村のキャベツ、冬の日照時間の多さを生かした甲府市南部を中心としたトマト、キュウリです。

また、田植えをする前の田んぼを利用して、甲府市周辺や笛吹市ではスイートコーンが、北杜市では、レタスがつくられています。

そのほかにも、さといも、いちご、大根が多くつくられています。

最近では、いちごの観光農園がふえています。

●やまなしの野菜の主な収穫時期

品目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
なす			ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
トマト			ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
きゅうり			ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
いちご			ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
スイートコーン					ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
キャベツ								ハ	ハ	ハ	ハ	ハ
レタス											ハ	ハ



ナス(甲府市)



トマト(中央市)



いちごの観光農園(甲州市)

●主な野菜の栽培状況



(4) 米の生産

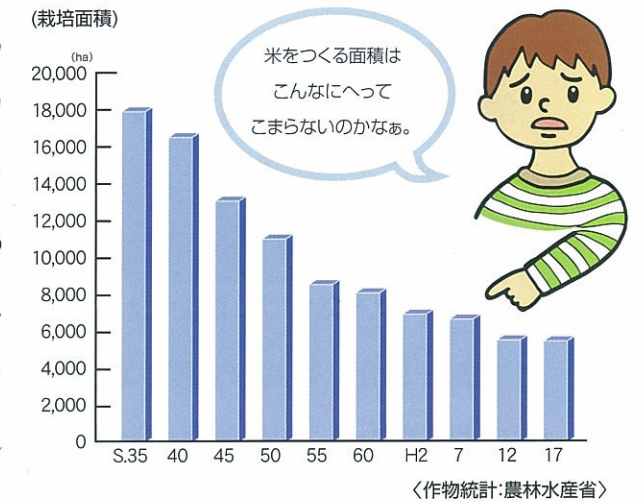
県内の米づくりは、韮崎市や北杜市、甲府市周辺を中心にさかんにおこなわれていますが、米をつくる田んぼの面積は、40年位前から年々へるようになりました。これは、わたしたちのごはんを食べる量がへってきたため、代わりに田んぼで野菜や、大豆、そばが多くつくられています。

米づくりの方法は、昔と大きく変わりました。トラクターで田んぼを耕し、田植機を使った田植え、コンバインでの稲刈りまで、今では機械を使った米づくりがおこなわれています。

県内でつくられている主な米の品種は、コシヒカリ、アサヒの夢、ひとめぼれ、農林48号です。最近、山梨県内でつくられたコシヒカリが、おいしい米であることが全国に知られ注目されています。

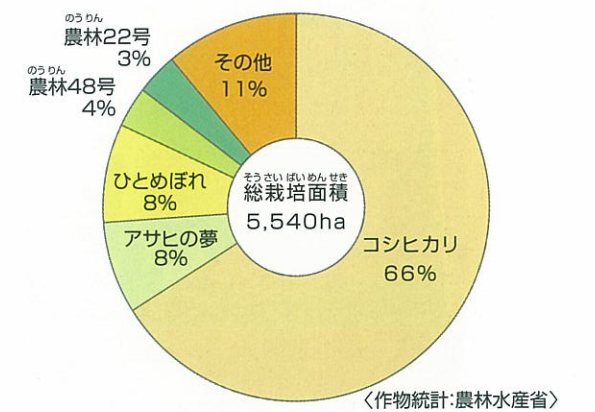
稲の穂が実り、風にゆられて波のように見える様子は、わたしたちが日本の秋を感じる風景の代表的なもので、いつまでも大切にしたいものです。

●米をつくる面積の移り変わり



〈作物統計:農林水産省〉

●米をつくる面積の品種別の割合(平成17年)



〈作物統計:農林水産省〉



(北杜市高根町)

